

# Azalea

## アゼリア



平成七年八月  
私は、子どもをつれて  
帰ってきました。  
チンチン電車の走る  
なつかしい町へ  
……



アゼリアさん  
vol.  
1

北区政における女性の活躍

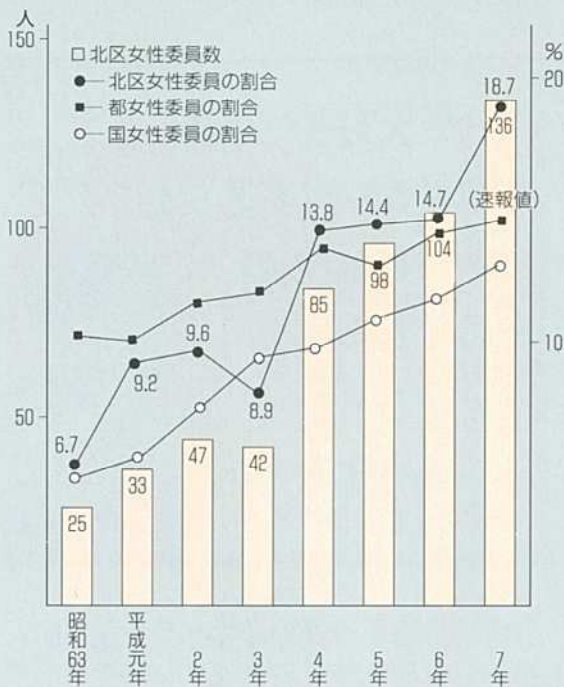
●北区議会、23区、都議会における男女別議員数

	議員数(人)			女性議員割合(%)
	定員	女	男	
北区議会	48	7	41	14.6
23区 区議会計	966	139	827	14.4
都議会	128 (欠員2)	11	117	8.6

(注)区議会は平成7年4月現在  
都議会は平成5年6月現在  
(北区および東京都選挙管理委員会調べ)

平成7年4月に行われた区議会議員選挙では、北区に7名の女性議員が誕生しました。この結果、区議会女性議員の割合は14.6%となり、23区内で10位でした。ちなみに、1位は目黒区で28.9%、2位練馬区23.1%、3位豊島区20.5%でした。

●審議会等への女性の参画状況



女性と男性、双方の意見を平等に取り入れて区政に反映していくためには、もっと多くの女性たちが政策決定の場へ参画していく必要があります。アゼリアプランでは、平成7年度までに女性委員の比率を20%以上(現在18.7%)とし、さらに25%に近づけるよう目標を掲げています。

そのため、女性大学の継続的な開講をはじめ、さまざまな機会と場の提供を行い、人材の育成と発掘とともに優れた人材の登用につとめています。

# 7名の女性議員が誕生しました

## 私たちの代表に直撃インタビュー

議員バッジ

95年4月の区議会議員選挙で、7名の女性議員が当選。改選前の4名から7名へと大きく飛躍しました。その結果、議員定数48名の区議会に占める女性議員の割合は14.6%となりました。

そこでアゼリアでは、6月議会直前のみなさんに、それぞれ30分ずつの時間をいただきお話をうかがいました。「私たち区民の代表として選出されたのはどんな方たちだろう。どんなお話が聞けるのかしら」と、期待いっぱいのお話の聞き手。みなさんは、それぞれに個性的で人間的な魅力にあふれていました。限られた文字数の中で、みなさんの人となりまでを十分に紹介できなかったのが残念です(掲載は50音順)。

「生命を育む性をもつ女性は、何といつても平和主義者なんです。国の首相が女性になり、また大臣クラスの閣僚を女性が半数を占めるようになれば、その国の施策が違ってくると思うんです。そういう意味でも、女性をもっと政策決定の場へ出さなければいけないと思います。議員としてあふれる情熱を、言葉とジェスチャーで力強く表現する大原さんには、30分間のインタビューは少し短かったです。」



### いつもカいっぱい、 2期目の議員 活動展開中

大原 康恵さん  
(田端新町1丁目)



大原さんが議会質問に立つ時は、議場に70ある傍聴席は満席になります。「区政にもっと関心をもってもらうためには、本会議場に足を運んでいただくのが一番と、さまざまな方に呼びかけている」からです。その結果、区政に大きな親近感を持ってもらうことに成功したと話します。まず知ってもらおうと、区政に関心を持ってもらうことが、大原さんのテーマのひとつです。

「女性問題は男性問題です。これからは、女性は社会で自立し男性は家庭で自立し、お互いが依存しあうのでなく認め合い支え合う関係が必要ですね。もっと女性も男性も意識変革をしていかなくては。でも、残念ながらまだ、発展途上です」という現状認識の上に立つ大原さんは、「いま、女性たちが社会と接点をもつて、さまざまな問題意識にめざめていきます。この女性たちの要望に応え、人材の裾野をうんと広げていくためにも、女性大学の夜間の開講とレハルアップした女性大学の開講を、まず区にお願いしたいですね」と、具体的に明快な女性政策への注文を話してくれました。さらに、女性の人材登用についても、人材登用推進計画の策定などをこれからの議会で提案していきたいとしています。

### いきいきと活動している 北区の女性たちに 感動

黒田 みち子さん  
(滝野川5丁目)



また、「ネットワークを上手に活用し、きちんとアンテナを張って情報を収集し、いきいきと活動している北区の大勢の女性たちの生き方に学びたい」と話してくれました。



区議会議員として3期目を迎えた黒田さん。1947(昭和22)年に北区議会が発足して以来、はじめての女性議長として活躍中です。

「女性が政策決定の場へ参加あるいは参画する機会があるようで、まだまだ開かれていないのが現状だと思います。能力のある女性たちがそれぞれの出番が、かんじんな時に与えられていかないと、ある条件を整えなければいけません。その点からも、女性議員が7人になったということは、素敵なことですよ。議員に立候補するという場合だけではなく、女性が社会に参加していく最初の出発点は、とつても勇気がいることなんです。」

黒田さん自身も、PTAや社会教育活動を経て区政懇話会のメンバーを務めていた8年前、地元議員の引退を機会に周囲の熱心な勧めがあった時、「できるだけ私の分はこなす、家族に迷惑はかけない。けれども、家族の全面的な協力がなければこの仕事はできない」と、家族会議を開き、了解を得た上で立候補を決意しました。「夫もね、結構協力的です。最近では洗濯物も干してくれるんです。」

これまでも、党派に関係なく女性議員たちで視察などを実施してきたという実績をふまえ、「具体的にはまだなにもありませんが、7人で相談しながら、先輩議員のお知恵を拝借して、いろいろなことができるのかなと思っています」と、超党派の女性問題への取り組みを期待できる発言もありました。

「戦中戦後の過酷な状況をくぐり抜けてきた方々が多く住む、桐ヶ丘の都営住宅の建て替え、改築問題が大きく進もうとしています。みんな育てて愛してきた地域環境を生かしているよう協力していきたいし、戦争体験の聞き取りを進めていきたいと思っています。それと防災、女性の視点での防災対策って大切ですよ。自分に引き寄せた暮らしとつながる問題意識を大切に、より良い解決の道を求めていく姿勢が真摯でした。」



### 自分のスタンスを大切に、 さらに一歩、もっと一歩 をめざす

相楽 淑子さん  
(赤羽北3丁目)



「北区女性のネットワークが発足したということですが、女性たちが自分たちの言葉で発言していける場を、誰でも気軽に持っていただくことが、女性のための施策を総合的に進めていく上で必要ですね。もちろん事業と施設の両面での整備です。」

7人になった女性議員たちもネットワークに加わり、ネットワークの女性たちの話を聞かせてもらえる機会をぜひ設定してほしいと、相楽さんは思っています。

「子どもは社会の財産なので、子どももとつて本当にいい環境で保育が行われ、働くお母さんたちが安心して預けられる公的な保育の充実、そして、いじめや体罰のない行き届いた教育が、少子化の進むいまだからこそ、求められているんじゃないかと思っています。」

赤羽西6丁目、陸上自衛隊赤羽駐屯地の見えるアパートからスタートした結婚、そして仕事を続けながらの子育て。出先で見かけた近所の方に、その場で保育園のお迎えをお願いしたこと、ねんねこ姿で自転車に乗りお迎えをしてくれた夫のこと…。自身の体験を踏まえて保育と子育てを語る時、相楽さんの目はちょっと潤んでしまいました。

### 平成6年度 アゼリアプラン推進状況調査 結果が報告されました

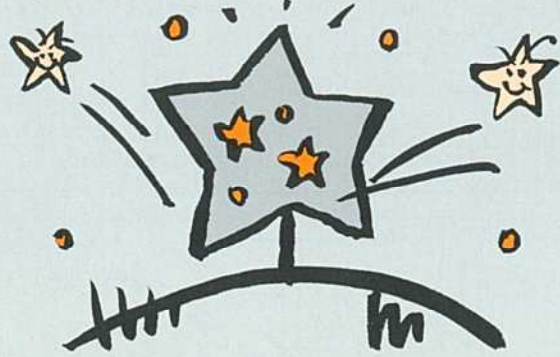
性による差別や区別を受けることなく、女性も男性も、ともにいきいきと参画できる社会を実現するために、北区女性行動計画「アゼリアプラン」が策定され、以来、3年が経過しました。その間、区民および学識経験者で構成する北区アゼリアプラン推進区民会議による推進状況調査が行われてきました。

北区アゼリアプラン推進区民会議では、平成6年度、「男女共同参画のための条件整備」というテーマを設定し、170のプラン関連事業の中から、このテーマに沿って検討すべき基本的な事業をピックアップ。それらの事業について、北区の所管課の協力を得て推進状況を調査・審議しました。その結果をまとめた「北区アゼリアプラン推進状況調査報告書」が、平成7年3月に発刊されました。

報告書では、まず前期推進期間（平成3年から6年）を通して感じた問題点や課題を、「総括」として挙げています。続いて、ピックアップした事業の調査結果および意見・要望を「主要課題別報告」としてまとめています。さらに、資料として170にわたる個別事業の推進状況についても、平成5年度の推進状況・今後の方向等について報告をまとめています。

区の女性施策状況を把握できる貴重な資料でもある「平成6年度 北区アゼリアプラン推進状況調査報告書」は、女性センター・区図書館で閲覧できます。（お問い合わせは、女性政策課）

アゼリアプラン推進区民会議は、男女両性が共同参画できる機会・場面を拡充するために、区民の意見を反映させる大切な役割を担っています。今後の活躍を見守っていただきたいと思います。



●ジェンダー (Gender)  
身体の構造としての性、つまり生物学的な性をセックスというのに対して、文化や社会によって規定された「女らしさ」「男らしさ」をジェンダーといいます。「女の子はピンク、男の子は青いからブルー」、「女はなんだからやさしく家庭的に」、「男はなんだから泣くな」などと言われた経験が、あなたもあることでしょうか。「女らしさ」、「男らしさ」という固定的な性別役割分業意識に根ざした女性蔑視や女性差別は、社会習慣や何気ない日常生活の中に組み込まれ、根深く残っています。視点を変えて見直すと、「あれ?」と思うことが沢山あることに気づくかもしれません。

きなうねりの中で、実現を考えていく必要があるとしています。議会の場でも、女性の人権や男女平等、女性の自立・男性の自立、男女共生の視点から、「ひとつひとつチェックし、見直していきたい」と考えています。  
「たった一度しかない人生なので、自分も男性も、自分の足で立って自分で物事を考えて、みんな人間らしく生きていきたいですね。」



報告書に目を通して林さんは、「女性議員の救など、報告書に数字で現れるものではなく、例えば、男女平等意識がどれだけ醸成されたかという話になると、それは数で計れるものではない。つまり、女性関連施策を推進していく中で、本当に重要なのは教育なんですね。男女平等という風土を作っていくために何をしようか、意識をどう変えていくのか、そこが問題なのかなと思います」と、明確に問題点を指摘しています。けれども自身については、「母や祖母から教えられてきた女は女らしくという古い価値観と戦後の民主主義教育で学んできた男女平等意識とが、こちやませになっっている部分はまだある」と厳しく分析。「自分自身で常にジェンダー・チェックしていかないと」と、話します。

林さんは議員活動21年目、女性議員としては初の区監査委員も務めています。また、過去の議員活動の中で、女性プラン策定の必要性を12年間も主張してきたそうです。そうした活動もあって、平成3年にアゼリアプランが策定されました。以来、区民と学識経験者で構成するアゼリアプラン推進区民会議によるアゼリアプランの推進状況調査が行われ、報告書にまとめられています。

### 議員キャリア21年 自身を見直すことからの 展望



林 千春さん  
(豊島4丁目)

古沢さんは、銀行で嘱託勤務をしながら、区の社会教育登録団体「いずみの会」の一員として、環境問題や平和について勉強会で学び、できることから行動し、映画会を開催するなどの市民運動を続けてきました。いずみの会は、女性政策課の登録団体でもあり、北区女性のネットワークにも参加しています。そうした15年の経験から、「女性のネットワークには、行政の横の連携を強くしてネットワークの輪をもっと大きく、いろんなグループが参加できるようにする必要があります」ときっぱり、女性問題などに絞り込んでいくことが、しっかりした組織づくりには必要だとしています。

今回の選挙では、市民運動の仲間たちの推薦を受けて立候補、そして当選。選挙中は、古沢さんが1945年生まれというだけでなく、戦後50年のいまだに、誰も本当に質の良い住宅や福祉サービス、安全な食・水や水を求める時代になつたという価値観の変化を視座に、区民に訴えてきました。  
「みなさんに区議会の傍聴に来てほしいですね。そして、主権者、納税者としての立場をもっと主張していただきたい。女性も自分で税金を払うくらいでないと平等にはならない、参画できないと思います。『税がどう使われているのかわかりたい』というところから政治が始まると思いますから...。いま一歩踏み出すことで、北区がもっと見えてくるんじゃないですか。自分の生き方と合わせてね。」

また、男女共同参画社会を実現するには労働時間の短縮が必要と考える古沢さんは、昨年の「LO」が採択したパート条約の日本での批准を含めて、パート労働者への支援を相談などのかたちで実現していきたい、と語っています。



### 自分たちのことは自分たちで 考え、行動していく 時代に



古沢 久美子さん  
(志茂5丁目)

社会参加の度合いが全然違うのは、象徴的です。という山崎さんは、社会的なサポートを充実していくことで、女性たちの子育てや介護の負担を軽くしていくことができるかと考えています。  
子育てグループづくりや調理実習など、地域活動の拠点として女性センターを活用してきたという山崎さん。議員として区政に直接的な参画を果たしたいと、地域での経験を活かした具体的な活動が期待できそうです。



また、「北欧などの福祉先進国では、労働力との関係で女の人たちが社会的に必要とされてきたという条件もあって、整備が進んだと聞いていますが、福祉制度や施策が充実しているところは女性の病院の保健婦として、豊島、掘船、王子周辺を自転車で回っているうちに、下町のな人間関係やそこで暮らす人々の生き方に魅了されてしまいました。病院と家族が頑張りすぎて、それを応援する公的な制度が充実していかないと、本当に大変だと仕事の中で感じてきたんです。体を通して実感してきた介護制度や医療の充実などについて、すこしでも区政に反映していきたい」と、立候補を決意。選挙期間中は、「応援をしてくれたい方たちの期待に応えなくては、がんばらなくちゃ」という気持ちで、きつと自分を大胆にするんだと思うんですけど、必死でパフォーマンスしていました」と、笑顔で話してくれました。

### 大好きな北区と この街で暮らす ひとびとの ために



山崎 泰子さん  
(豊島3丁目)

「学校を卒業して看護婦として仕事をするために、北海道から北区へ出て来たんです。北区の病院で2年間臨床をして、もう1年北海道に戻って進学して、今度は保健婦の免許を取って、また北区へ来ました。きつと、魅力があったのだと思うんですけれど。」

北区に住んでちょうど20年になるという横満さんは、今回の選挙で初当選。区議会議員に立候補するまでは、PTA活動や町会役員、地域ボランティアなど、自身の生活圏内の活動を中心に活躍してきました。近年、男性は外で仕事をし、女性は家事を分担し育児や介護も引き受けるという家庭内の固定的な役割分担から脱出、ボランティアや地域活動に参加しながら自己実現を図る「主婦」が増えてきました。横満さんは、そうした女性たちの中から、今回一気、議員として区政の政策決定の場へ参画を果たしました。横満さん自身も、「主婦の立場で地域のみなさんの声を区政に届けるようなことができれば」ということで、立候補しました」と、立候補の動機を話しています。

「子育てと家事ということでは、本当に専業主婦とあと地域のことを手伝いするという生活をしていまして、急に外へ出ることにになりましたから、そういう点でまず夫が変わりましたね。私自身、ちょっと考えなければいけない、夫の着替えを出してあげることからやっていますね。今回、議員として外に出るようになって、夫も家事をやらなければならぬ環境になりましたから。子どもたちも、よく手伝ってくれています。横満家にとって、家族それぞれの自立を実現する大きなきっかけとなったようです。」



「今はとにかく勉強、勉強です」という横満さん。入手した情報の中で区民が活用できるものは、集会などの場で積極的に紹介していくつもりです。そして、たくさんの人に会い、たくさんの方の声を聞くことを課題としています。

### このまちに住んで良かったと 誰もがいえる街に したくて



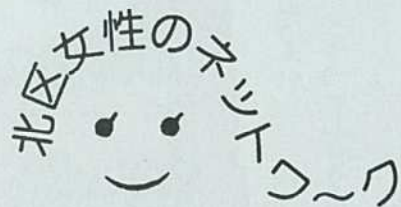
横満 加代子さん  
(王子3丁目)

「北区に住んで良かったといえるまちづくり、ことに、お互いの顔が見える、そういうふれあいのまちの良さをのびたいですね。」

☆何かが変わる!?北区女性のネットワーク

女性でも男性でも、個人でも団体でも入会OKというユニークな組織「北区女性のネットワーク」。設立総会が4月12日に開かれ、役員や運営委員を選出したほか予算や事業計画が承認されて、いよいよスタートしました。

既に6月に会報を創刊、7月にはアゼリアプラネットまつりへのお誘い会、交流会を開催するなど活動を展開中です。



お申し込み・お問い合わせは、事務局：北区総務部女性政策課へ

☆親善、交流から参加、行動へ

～第2回北区女性海外派遣事業～

10月16日から20日までの5日間、女性区民の方々が北区の友好都市、北京市宣武区を訪問し宣武区の女性と交流します。

世界女性会議やNGOフォーラムを経て中国の女性は何を感じ、どう変わったか、また中国でも急増しているといわれている離婚、相続あるいは高齢者の扶養といった家庭の抱える問題や課題などを宣武区婦女連合会、女性弁護士の方々と語りあう予定です。

親善と交流を深めるとともに、問題意識を持ってお互いの経験や意見を交換し、学び得た知識や情報を男女共同参画のまちづくりに活かしていただく一派遣団員になられた方々の成果に期待したいものです。

第2回北区女性海外派遣団

- 団長 小沢 浩子 (赤羽)
- 安部 佳子 (西ヶ原)
- 榎並 博子 (浮間)
- 尾崎 裕子 (岩淵)
- 小沼 洋子 (浮間)
- 笹川 セツ子 (豊島)
- 竹之内 久実子 (赤羽北)
- 富田 順子 (神谷)
- 堀井 節子 (滝野川)
- 堀井 泰江 (田端)
- 山口 富美子 (滝野川)

●世界女性会議

約190カ国が参加する国連の政府間会議で、9月4日～15日の期間北京市で開催。貧困、教育、保健、暴力等12の重大問題領域についての行動綱領を採択する予定。1975年にメキシコシティで開催して以来、コペンハーゲン、ナイロビと続き今回が第4回。

●NGOフォーラム

非政府組織(nongovernmental organization)によるプログラムで、世界女性会議に並行して開催。会場が横浜市に移るなどの曲折を経たが世界中から約25,000人が、日本からは5,000人が参加すると言われていた。テーマは「女性の目を通して世界を見よう」。

平成7年度  
これからの

# アゼリアプラネットの主な事業

いきいきと暮らそう

女性センターは、あなたの 元気を応援します

●ラッピング

☆実施時期、時間帯/2月～3月  
5回、13:30～15:30  
☆区内在住在勤の方、30名

▶詳しくは女性センターへ  
お問い合わせください。

〒114 北区豊島1-14-12  
☎03-3913-0161・0162  
休館：日曜・祝祭日  
開館：9:00～21:00



## 女性総合相談

専門のカウンセラーが相談者と一緒に問題解決の糸口を探すカウンセリング相談です。

☆相談日、時間/水曜日・金曜日、13:00～17:00

☆電話/03-3913-0015  
相談室専用  
(事前に予約してください)  
☆費用/無料

## アゼリアプラネットまつり

アゼリアプラネットまつりスタッフ会が、企画・実行する手づくりの楽しいイベントです。まつりのテーマは、「交流」。フォーラム、国際交流、展示、発表、バザーの五つの部門それぞれが全員参加型の企画です。どなたにもきっと満足していただけるでしょう。

☆開催時期/11月11日(土)、12日(日)

## 生活文化講座

生活に密着した講座、文化・伝統的な講座、教養を高めるための講座等幅広く開講し、充実したライフステージづくりをお手伝いします。

●和裁・洋裁・茶道・花道・料理

生活に必要な技術や伝統ある事から学び、こころ豊かな生活を送るための講座。

☆実施時期、時間帯/10月～2月  
14回、9:30～20:30

☆区内在住在勤の方、30～60名

●着付け講座

和服の着装をわかりやすく、具体的に習得できます。

☆実施時期、時間帯/10月～12月  
8回、18:30～20:30

☆区内在住在勤の方、30名

●フラワーアレンジメント

さまざまな用途に応じたアレンジメントを、実技を中心に指導します。

☆実施時期、時間帯/11月～12月  
5回、13:30～15:30

☆区内在住在勤の方、30名

●相撲甚句

哀調を持った節回しで心にしみわたる唄を指導します。

☆実施時期、時間帯/1月～2月  
4回、13:30～15:30

☆区内在住在勤の方、40名

●男性料理教室

★鍋物、丼もの、おつまみ

☆実施時期、時間帯/11月1日～29日(毎週水曜日)  
5回、18:30～20:30

☆区内在住在勤の男性、40名

★アラカルト(オードブルなど)

☆実施時期、時間帯/2月～3月(毎週土曜日) 5回、10:30～12:00

☆区内在住在勤の男性、40名

●ステンシル

Tシャツなどに、あなたのオリジナルの絵をつけます。

☆実施時期、時間帯/1月～2月  
5回、9:30～11:30

☆区内在住在勤の方、40名

## 女性大学

区政に関する審議会等をはじめ地域におけるさまざまな分野での女性の参画を進めるため、幅広い視点から女性の現状や課題を把握する力を養います。

☆実施時期(回数)、時間帯/  
9月～2月 全20回、14:00～16:00  
☆区内在住在勤の女性、40名

## 女性セミナー

女性問題を具体的に理解し、認識を深めるため、広く各分野にわたりテーマを設定した講座、講演会等を開催します。

●団体活動

団体活動のノウハウを学びます。

☆実施時間(回数)、時間帯/  
10月中旬～12月中旬 5回、13:30～15:30

☆区内在住在勤の方、40名

●手づくり絵本

物語をもとに絵本を手づくり。育児に役立てます。

☆実施時期(回数)、時間帯/  
1月中旬～2月上旬 5回、10:00～11:30

☆区内在住在勤の女性、20名

●女性セミナー

自己表現方法について学びます。

☆実施時期(回数)、時間帯/  
10月上旬～11月下旬 8回、18:30～20:30

☆区内在住在勤の方、25名

●女性問題講演会

★遺伝子って、何?

☆実施時期、時間帯/  
10月14日 1回、10:00～11:30

☆区内在住在勤在学の方、60名

★世代と感覚

☆実施時期、時間帯/  
3月上旬 1回、13:30～15:30

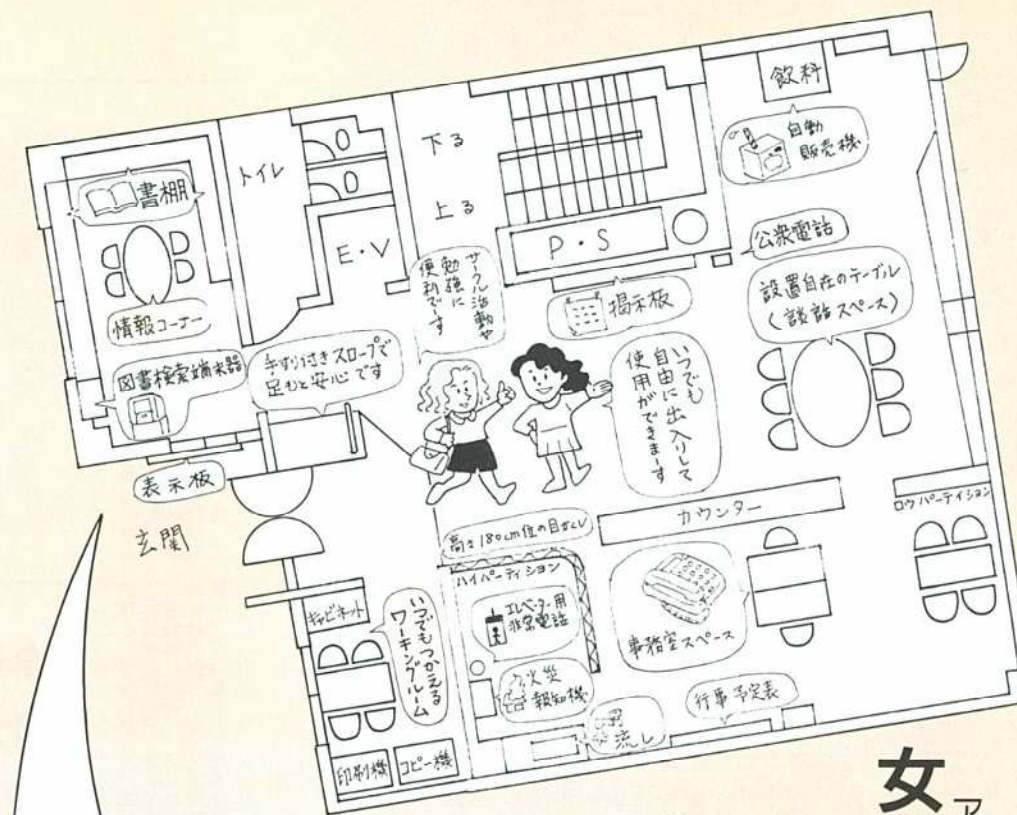
☆区内在住在勤の方、60名

●男性セミナー

★夫婦・親子

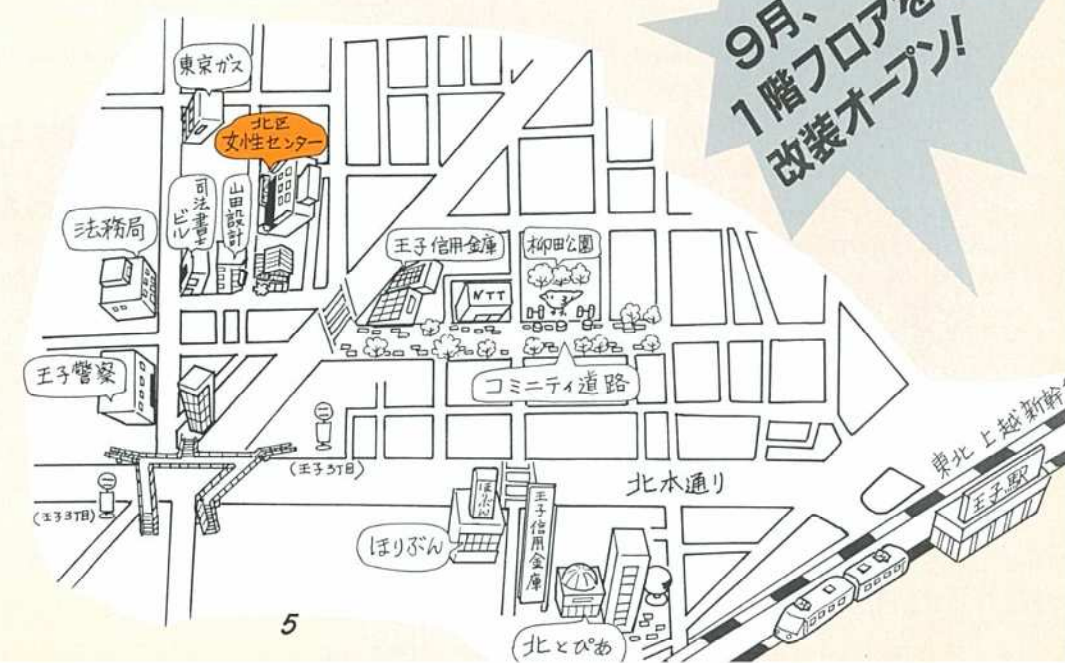
☆実施時期、時間帯/1月下旬～2月中旬 3回、10:00～12:00

☆区内在住在勤の方、40名



アゼリアプラネット  
女性センターがもっと  
使いやすくなります。  
明るい談話スペース、充実した蔵書のある情報コーナー、素早く印刷できるワーキングルーム：女性センターの開館時間内なら、いつでもおいでください。

9月、1階フロアを改装オープン!



# アゼリアさんの連載が始まりました。

今号から、田島加代子さん(神谷1丁目)作のアゼリアさんを連載します。明るく元気いっぱい(でも、しんどいこともいっぱい)のアゼリアさんを通して、女性を取り巻くさまざまなことをごいっしょに考えていきましょう。

